

シラバス（授業計画）

学科名	動物管理科					コース名	ホースプロコース		
科目名	騎乗理論						必修・選択必修の別		必修
実施期	1年	前期	40	時間	後期	43	時間	授業時間数合計	83 時間
	2年	前期	-	時間	後期	-	時間	※授業50分を1時間とする。	
担当講師	郷原 恵子								
	実務経験	有	乗馬クラブ経営29年 平成8年より有資格者として乗馬の指導にあたる。						
授業概要	理論を学んで、まずは頭で理解し、それをレッスンや実習で体験し、騎乗バランスやシートを習得する。併せて馬とのコミュニケーションの方法、厩舎管理などを座学にて学ぶ。							授業形式	講義
到達目標	騎乗時における正しい姿勢とバランスを学ぶ。騎乗での常歩、速歩、駈歩の動きを理解する。馬とのコミュニケーションを深めるのに必要なことを学ぶ。馬の観察を通じ行動、特徴、生態を学び飼育管理に生かす。騎乗時における基本動作の理解。厩舎管理に必要な知識と健康管理上の見極めや対処方を学ぶ。ライセンス取得のための筆記試験対策。競技会に備えルールや準備、知識を学ぶ。								
教科書・教材・服装等	乗馬教本、ホースケアマニュアル、レッツエンジョイライディング、スタンダード馬場馬術（後期）								
授業計画時間数	授業内容								
1	授業の進め方、イントロダクション 馬の祖先から現代の馬までの進化 サラブレッドの祖先について								
2	馬の毛色と白斑、その他識別方法								
3	引馬、馬装、乗馬の仕方と姿勢を動画で理解 手入れ道具の種類と説明								
4	馬の予備知識								
5~6	馬の健康観察、馬の感覚器について								
7~8	馬装具類と装鞍。馬装点検。引馬の仕方。								
9	正しい姿勢で乗る								
10	馬の行動、ポディーランゲージから学ぶ。野生馬の行動から知る。習性について。								
11~12	座りの養成。バランスと緊張の緩和について。座りの基礎								
13	馬の飼育における健康と福祉。								
14~15	運動時における騎手の姿勢。常歩、速歩、駈歩の定義と動作								
16	厩舎における馬体検査。呼吸、脈、体温の測定方法と健康な馬の見分け方。								
17~18	扶助操作の養成。体重扶助								
19	厩舎の環境と、年間の管理で必要なこと。								
20~21	脚扶助、手綱扶助								
22	敷料の話								
23~24	副扶助の使用、扶助の共同操作								
25	三種の歩法の定義。								
26~27	座りと扶助操作の問題点、その原因と矯正								
28	野外での馬の管理 放牧の注意点								
29~30	拳の構え方や手綱の持ち方、操作方法の問題点、復習。								
31	馬具の手入れ								
32~33	人馬の基礎訓練。三種の歩法と典型的な誤り。								
34	半減却、移行、全減却について								
35~36	ライセンス取得経路の解説 3級								
37	馬場経路の解説（A2課目）								

38~39	回転と輪線運動の理解			
40	競技会動画で学ぶ			
41~50	馬場馬術の運動の基本（後期用テキスト）			
51~52	図形運動の理解、復習			
53~55	馬場運動における問題とその解決 動画も交えて			
56~57	一鞍における運動の組み立て。練習リスト			
58~60	高度な馬術 入門編、運動項目の基礎知識			
61~70	馬の問題行動とその解決方法			
71~75	馬の基礎調教			
76~80	競技会へのガイド ルール他復習			
80~83	動画で見る トレーニングスケール まとめ			
成績評価方法	・出席率	定期試験	○	筆記試験
	・定期試験や小テスト			実技試験
	・平常点（提出物・授業参加意欲など）			実施しない
成績評価基準	A評価	出席率100％・定期試験や小テスト85点以上・平常点 優れている		
	B評価	出席率99～90％以上・定期試験や小テスト84～75点以上・平常点 普通		
	C評価	出席率89～80％以上・定期試験や小テスト74～55点以上・平常点 やや劣る		
	F評価	C評価の基準を満たしていない場合		